

水戸教育事務所だより

すぐ寄り添う事務所～「転ばぬ先の杖」として～

第10号

2023年 8月30日

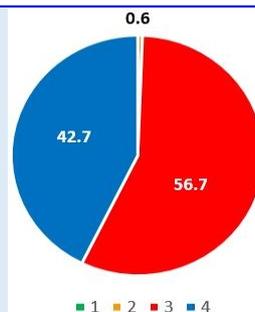
今年度の目標の進捗状況を確認し、さらに充実した学校経営・運営を！

夏休み中は静かだった学校にも、子供たちの元気いっぱいの声が響き、新たな目標をもって、学校生活がスタートしたと思います。

水戸教育事務所人事課では、本年度、次のような目標を立て、学校訪問や管理職研修会、市町村の学校管理運営研修会などでお話をしています。目標値は、12月の管理職研修会（校長）での4段階評価の平均値となります。改めて、目標値と6月初め時点での平均値をお知らせします。

① 信頼される教職員としての服務規律の確保

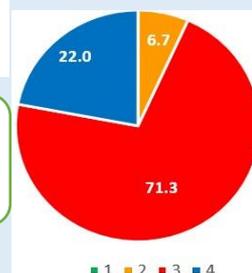
- ・教職員による不祥事の根絶
- ・自分事としてとらえる具体的な研修の充実
- ・日常的なコミュニケーションの充実
(接遇・3ない+2、SNS等の使い方まで)



①目標値 3.4
(6月初 3.4)

② 迅速で的確な対応ができる学校の組織力強化

- ・管理職の温かな関わりによる安心して働ける職場環境づくり
- ・管理職のリーダーシップによる協働的な組織体制の構築
- ・OJT、各種研修会等を活用した人材育成
- ・教員評価の活用の一層の充実
- ・業務の効率化を図る働き方改革の推進
- ・前例に囚われない計画的・効率的な業務の遂行
- ・管理職との信頼の上に成り立つ「報告・連絡・相談・確認」の実践



②目標値 3.2
(6月初 3.2)

① 「信頼される教職員としての服務規律の確保」では・・・

1学期後半になると、指導にも熱が入り、「不適切な指導」と考えられる報告がありました。「生徒指導提要（令和4年12月改定）」では、次のような例が挙げられています。確認をお願いします。

「不適切な指導と考えられ得る例」

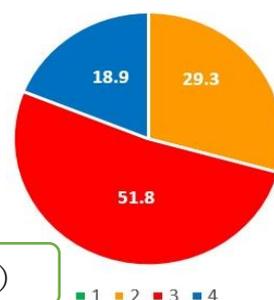
- ・大声で怒鳴る、ものを叩く・投げる等の威圧的、感情的な言動で指導する。
- ・児童生徒の言い分を聞かず、事実確認が不十分なまま思い込みで指導する。
- ・組織的な対応を全く考慮せず、独断で指導する。
- ・殊更に児童生徒の面前で叱責するなど、児童生徒の尊厳やプライバシーを損なうような指導を行う。
- ・児童生徒が著しく不安感や圧迫感を感じる場所で指導する。
- ・他の児童生徒に連帯責任を負わせることで、本人に必要以上の負担感や罪悪感を与える指導を行う。
- ・指導後に教室に一人にする、一人で帰らせる、保護者に連絡しないなど、適切なフォローを行わない。

② 「迅速で的確な対応ができる学校の組織力強化」では・・・

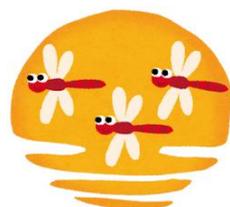
「働き方改革の推進」については、校長アンケートからも、他の項目に比べて、課題があることが分かりました。身近なことで、できることから推進をお願いします。

「働き方改革の推進」について、6月の校長アンケート結果

- ・超過勤務時間「1か月45時間以内」「80時間超教職員解消」
- ・部活動の適正な実施「部活動時間 週11時間以内」等



(6月初 2.9)



1学期、学校訪問をして、日々の教職員のご努力に心より感謝するとともに、私たち人事課10名も共に考え、「子供の可能性を引き出す学校づくり」に協力していこうという気持ちを強くもちました。学校経営、学校の管理運営はもちろんですが、人事課主査を中心に行っている「教職員の相談」についても進めてまいりますので、目標達成に向け、今後どうぞよろしくお願いいたします。